

# とよしん景況調査

## 《 調査要領 》

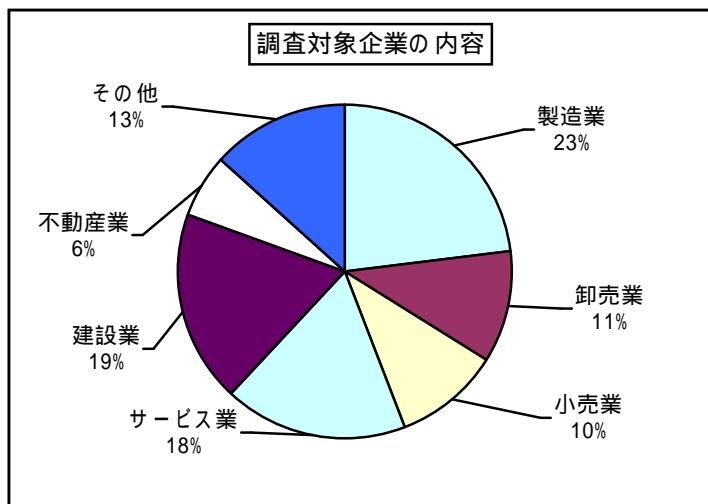
**調査対象時期** 平成20年10月～12月 実績  
平成21年 1月～ 3月 見通し

**調査方法** 聞き取りアンケート調査

**調査対象企業** 当金庫取引先 574 社

### 分析方法

各質問項目で「増加(上昇)」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少(下降)」したとする企業の構成比との差(DI・判断指数)を中心に分析。



### DIの推移

#### <業況>

(数値はDI数値)

業種 \ 時期	平成19年 10～12月	平成20年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月 見通し
総合	10.8	6.9	4.7	10.8	11.1	20.0
製造業	25.2	14.0	7.7	10.7	15.3	25.5
卸売業	17.5	8.8	7.0	6.6	1.6	19.4
小売業	0.0	3.5	3.6	8.8	10.2	22.0
サービス業	21.9	21.6	13.9	2.8	0.0	12.1
建設業	0.9	2.7	19.8	20.0	19.1	25.5

#### <売上>

(数値はDI数値)

業種 \ 時期	平成19年 10～12月	平成20年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月 見通し
総合	21.6	10.0	1.4	4.1	1.0	17.1
製造業	36.7	14.7	4.2	6.4	11.7	27.7
卸売業	26.3	0.0	7.0	3.3	19.4	14.5
小売業	11.5	3.5	3.6	1.8	1.7	20.3
サービス業	29.2	21.6	16.8	1.9	1.0	12.1
建設業	15.5	8.2	19.8	9.0	8.2	18.2

#### <収益>

(数値はDI数値)

業種 \ 時期	平成19年 10～12月	平成20年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月 見通し
総合	5.9	3.6	13.0	16.1	9.8	17.8
製造業	18.0	11.9	12.0	22.9	19.7	27.7
卸売業	12.3	0.0	21.1	11.5	3.2	16.1
小売業	1.6	7.0	7.1	7.0	1.7	6.8
サービス業	10.4	15.5	9.9	1.9	4.0	11.1
建設業	1.8	1.8	35.8	23.0	19.1	25.5

# 総 合

当期(10~12月)は、前期比で業況DI 0.3ポイント、売上DI +3.1ポイント、収益DI +6.3ポイントと業況DIは低下したが、売上・収益DIは上昇した。原油価格の高騰は落ち着きが見られたが、景気の後退から、資金繰りが悪化している。来期の見通し(1~3月)は、更なる景気後退が懸念されており、全てのDIで大幅な低下を示している。

業種別に見ると、製造業では好調を維持していた自動車関連もトヨタ自動車の大幅な減産により、設備投資の見直しが相次いでおり、厳しい状況となっている。

卸売業では、原油価格は落ち着きを取り戻しつつあるが、仕入価格の上昇を販売価格へ転嫁できる企業とできない企業の二極化が見られる。

小売業では、自動車販売は、売上減少が顕著となり、景気後退から更なる消費購買意欲の落ち込みが懸念される。

サービス業では、飲食関連では売上が伸び悩む中で、原材料価格の高騰を販売価格への転嫁が進まず、収益を圧迫している。

建設業では、公共工事は前年並みを維持しているが、個人住宅は景気後退や税制改正を見極める動きのため、先送りとなっている。

